

第3回 統合準備会

日時 令和2年8月26日 午後7時00分

場所 森町文化会館 小ホール

内容 学校教育課長挨拶

分野ごとの検討

(1) 教育分野

(2) 通学分野

全体会議

連絡事項 次回統合準備会開催日 10月28日水曜日

司会:学校教育課長補佐 進行:森小学校教頭・三倉小学校教頭

発言要旨

発言者	内 容
学校教育課長補佐	開会。最初に学校教育課長から挨拶をする。
学校教育課長	町内の学校ではコロナの影響で短い夏休みが終わり21日に天方小、24日森小、25日にその他の全小中学校の始業式が行われた。どの学校でも順調に2学期がスタートした。PTAの皆様においては各PTAでの話し合いをしてもらった。前回統合準備会から約1か月、前回の意見を確認をし、課題を絞り込んで具体的な対応をしていきたい。 本日は第2回の統合準備会と同様に、4グループに分かれての検討を行い、全体会議で報告していただく。通学分野で時間に余裕がある場合は、教育分野の放課後の過ごし方について検討いただきたい。 また、今後の予定は、三倉地区天方地区の住民へ説明をする説明会を9月15日16日に旧泉陽中学校の体育館を予定している。コロナウイルス対策として広い会場を用意するため、旧泉陽中学校体育館となっているが、都合の付く日に参加をしてもらえるように考えている。回覧、ホームページにてお知らせしていく。 それでは第3回統合準備会をよろしくお願いする。
学校教育課長補佐	分野ごとの検討に進む。 本日の準備会の進め方は、全体で前回出していた意見や質問について説明した後、前回と同様に4つのグループに分かれて検討を行い、その後全体会議で報告していただく。 前回いただいた意見・質問に対する回答について説明。 資料1・2ページに前回いただいた意見を一覧にして、左側に意見や質問を、右側に回答を記載した。 教育分野の① 警報発令時・解除時の対応の1点目、下校・降園時に「地区責任者に引き渡し」とあるが、行っていないため修正してほしいという意見があった。このような取り扱いがないことを全園校に確認できたので、4ページの変更案のとおり削除する。 2点目、8時30分より前に解除になって登校するときの方法は、という質問については、それぞれ路線ごとに記載のある時間のバスを利用して登校することになる。 3点目、解除になっても土砂崩れの恐れがある箇所がある場合の対応は、という質問について、先日も警報解除後に土砂崩れがあった。危険箇所がある場合は、この基準にかかわらず、安全を最優先して保護者の判断で自宅待機等をしていただくことになる。その場合、学校へ連絡をお願いしたい。 5点目、警報1つで自宅待機となるが、2つ以上にしたらどうか、との意見については、森町の地理的条件を考慮し、児童生徒の安全を第一に考えて現在の基準になっている。今回は統合による見直しであるため、森町全体の基準については、今後検討していく。

発言者	内 容
学校教育課長補佐	② 学校指定用品の取り扱いについては、前回示した案にいただいた意見及び再確認したものを反映させて5ページ・6ページの一覧のとおりとした。黄色のマーカー部分が変更点。前回ナップサックと表記したものは、体操服袋のことであり、指定がなく現在使用しているものを買い換える必要がないため、支給対象外とする。水泳帽子は森小で指定があるため支給する。横断バッグは任意購入のため支給対象外。給食袋も現在のものが使用できるため支給対象外。給食用ふきんについては、個別のトレイを使用するため不要。ヘルメットの校章シールも支給する。 ③ 放課後の過ごし方については、社会教育課から説明する。
社会教育課長	③放課後の過ごし方の説明をする。 週1回水曜日に実施するのが良いのではないかという意見については、毎週水曜日の実施を提案する。 場所は旧泉陽中や天方小が良いのではないかという意見については、天方小学校での実施を提案する。 どんな形でやれるかシミュレーションして案を示して欲しい。どこに設置するのか示されていないと利用するかどうか答えられない。場所によっては使えないこともあるという意見については、9ページで実施方法(案)を提案する。 低学年の子が安全に帰れるか不安。バス停までの見届けがあったら安心という意見については、どのような対応が可能か検討していく。 学校が終わり子供教室に移動するときにはけがをした場合、また、下校して待機しているときのけがは、保険が適用されるかという質問については、当該児童が子供教室を利用することや、その経路を学校が把握している場合は、学校のスポーツ振興センター災害共済の対象となる。バスの待機場所も同様に対象となる。 学校が始まって子供の様子を見て決めたいので今決めるのは難しいという意見については、場所や実施方法の案を確認したうえで参加の検討をお願いしたい。 児童館的な機能を持った待機場所があるといいという意見については、放課後子供教室の中で定期的に体験活動を取り入れることを予定している。
学校教育課長補佐	2ページの通学分野の① 令和3年のバス運行の2点目、「秋葉線」「大河内線」のいずれにも乗れる中学生がいるが、どちらかに決めてもらった方が良いのではないかという意見については、令和3年の運行方法を今後やまゆり三倉と協議する中で検討する。 3点目、下校時、計画的に一括予約した方が良いのではないかという意見については、学校で予約する方向で検討する。 4点目のバスの乗り方の練習機会については、②の2点目にもある。バス会社によるバスの乗り方教室や交流学习等でバスを利用するなど、練習機会を設けることを検討する。これについて、各小学校での予定などあったら説明をお願いしたい。
三倉小学校教頭	三倉小学校では、9/15に3小学校交流活動があるため、その際に森小学校から路線バスを利用して各自宅へ帰宅する試験下校を考えている。子供達にバス通学が始まる状況に目を向けてもらいたい。教職員も含めて来年度の統合までの時間に実践的課題を見つけて子供達が困らないようにしてあげたい。保護者を含めて長距離通学について考えてもらう機会としてもらいたい。
天方小学校教頭	天方小学校では、子供達がバス通学をする際、困らないように生活の学習で児童館へ出かける。森小学校の周辺を探索すると共に通学路の確認をする予定。3学期には、徒歩通学の黒石、葛布の児童がバス通学の練習をする予定。乗車する際の具体的なルールやマナーを学ぶ。12月の3小学校交流の機会を捉えたり、年度末にも確認する機会を設けようと考えている。
学校教育課長補佐	② 通学時の安全確保の1点目、森林組合前バス停での乗り換えが心配という意見については、どのような方法があるか検討していく。 3点目、町営バス遠州森町バス停の待合場所に雨よけがほしいという意見については、待合場所及び乗降場所について検討する。 4点目、スクールゾーンを設けたり、制限速度40kmを30kmに変えたりするよう働きかけをお願いしたいという意見については、13ページのとおり、現在も30km規制となっている。先日、警察や道路管理者である建設課、学校など関係機関による通学路の合同安全点検を実施した。どのような対策ができるか検討していく。 5点目、秋葉バスのロータリーを大河内線も使用できないか？という意見については、秋葉バスと協議したところ、バスの乗り入れは困難ではあるが、引き続き協議を続ける。待合場所の使用は可能となっている。 6点目、PTAの街頭指導については、PTA分野にて検討する。現在の検討状況について説明をお願いしたい。

発言者	内 容
森小学校教頭	今年度までの地区での街頭指導は年3回行っている。学校で日時を設定していない。各地区で時期を設定している。地区ごと調整して多くの日数街頭指導を実施している。来年度については三倉天方地区でそれぞれの危険箇所を中心に街頭指導を実施していれば良い。森小学校まで来て街頭指導しなくても、各地区で実施してもらえば良い。
学校教育課長補佐	7点目、バスを乗り過ごした場合等に対応するため、子供に携帯電話を持たせたいという意見については、その他の1点目でも同じ内容の意見がある。学校で検討するが、状況等説明をお願いしたい。
森小学校教頭	森町教育委員会より学校における携帯電話の取り扱いについての通知があり、それに基づいて現在対応している。学校への携帯電話の持ち込みを原則禁止となっている。ただし、遠距離通学、登下校時の安全確保、公共交通機関を利用して通学する場合については、その他やむを得ない場合に当てはまると考えられる。それを認める場合は、一定の条件、約束事を決めて、保護者と学校とで合意をして認めていくようになる。
学校教育課長補佐	③ 特別な日課への対応の1点目と3点目は日課についての意見。学校で検討するが、森小での検討状況等説明をお願いしたい。 2点目、午前で終業の場合、帰宅するのがお昼過ぎになる。三倉小でもそのようなときは、おにぎりを食べてからバスに乗るようにしているが、バスの時刻の変更も検討してほしいとの意見については、14ページの黄色マーカー部分のとおり、秋葉バスの時刻は電車との接続等の関係もあり、変更できないことを確認している。三倉小での対応を参考にして個別の対応をお願いしたい。 その他の1点目、森中学校入口バス停に時計がないため時刻が分からず、バスに乗り遅れたと勘違いしたことがあったという意見への対応として、時計の設置を検討している。 2点目、森中の生徒がバス停で地面に座って宿題をやっていた。ベンチがあるといいと感じたという意見への対応として、森中学校入口バス停にベンチを設置した。 以上が、第2回での意見・質問に対する回答。これらを受けて今回の資料を作成している。 その他、バス会社の安全管理について、学校を通して質問があった。先日、車両のパンクや故障が重なり不便・心配をお掛けした。NPOやまゆり三倉については、運行管理者として講習を受け、更新している。始業前の車両点検や健康チェックを毎日行っており、大河内線は2か月に1回、夢街道線は1年に1回整備工場で行っている。地域交通を担う組織として適正に運行されていると考えている。今後も安全面に関しては、様々な想定をして関係機関と取り組んでいく。 7ページの「放課後の過ごし方」について、社会教育課から説明する。
社会教育課長	放課後の過ごし方については、三倉小天方小保護者の意見要望に対する対応について、1森小学校内のバスの待機場所については、放課後安全に過ごすためにも何かあってはいけないので、保険関係の対応をお願いするとの意見は、待機場所については、学校のスポーツ振興センター災害共済の対象になる。 バスに間に合うように行動できない子は誰がフォローするのかとの意見は、支援員を配置する予定である。 バスの乗車時間までの待機ならば、保護者の迎いの待機も有りとしてもらいたいとの意見には、想定される状況を把握したうえで、学校と協議しながら運用について検討する。 低学年は宿題がすぐ終わってしまうのでカード、ボードゲームがあるとうれしいとの意見は、現在放課後子供教室で使用しているものを引き続き使用したいと考えている。 図書館の利用等の意見については、待機場所に、森町立図書館の団体貸し出しを利用して図書を設置することを考えている。 待機時間にグラウンドの使用もお願いしたいとの意見については、高学年が授業を行っている時間帯はグラウンドは使用できない。高学年の下校時刻以降で待ち時間が長くなる日は限られるため、現時点でグラウンドの使用は考えていない。 下校時刻等の連絡ノートが必要であるとの意見については、現在放課後子供教室を利用している保護者に配付している終業時刻表を来年度も配付する予定である。終業時刻を確認のうえ、バスの乗車時刻、待機場所利用の有無を保護者から連絡して欲しい。ノートの確認方法は学校も交えて検討する。

発言者	内 容
社会教育課長	2放課後子供教室について、バスの時刻や乗車時間を考えると、三倉に戻ってきて遊べる時間は実質1時間弱。利用したくてもできるのか、季節、設置場所の検討が必要、三倉地区での開催は黒田地区児童が一度奥まで行くことになるので難しいか、泉陽中などで行うのはどうか、天方と三倉の合同実施もよいとの意見については、実施方法(案)のとおり天方小学校での実施を提案する。 週1回水曜日の利用は子供の様子を見ながら決めたい(新しい環境で疲れてしまうかもしれない)の意見については、実施方法(案)のとおり、三倉・天方合同実施であれば参加児童がある程度見込めるため学校に慣れてからの参加でかまわない。ただし、保険に加入する必要があるため詳細決定後、今年度末までに参加の有無を確認し、追加申込みを可とする。 元開橋バス停から子供達だけで移動するのは心配であるという意見については低学年の児童がバス停から安全に移動できるようになるまでの期間において、放課後子供教室のスタッフが元開橋バス停で待機し同行することを検討する。 放課後子供教室の実施方法(案)について説明する。現天方小学校(教室・体育館)で毎週水曜日に、三倉天方地区全児童のうち希望者を対象に実施する。月1回程度、地域の方等の協力を得て移動児童館で行っているような活動を取り入れる。その場合、自主学習の時間は設けない。
学校教育課長補佐	吉川線のダイヤ改正について、企画財政課から説明する。
企画財政課長	現在のバスダイヤにおいて、元開橋において秋葉線と、吉川線について、到着時間に差がある。秋葉線7時32分、吉川線7時47分である。天方小学校から、秋葉線と吉川線と時間を合わせられないか要望があった。そのため、秋葉バスと吉川線の有限会社アマガタと調整をし、今年の10月から11分差を縮めるダイヤ改正を行う。遠州森町バス程の到着時間についても11分の差を縮める変更となった。時刻表を配付し、回覧にてダイヤ改正の周知をしていく。
三倉小学校教頭	この後、4つのグループに分かれて検討をする。より充実、より安全な内容になるように、様々な場面で不安なことや意見を出してもらいたい。30分程度で話し合いをし、グループで出た話を全体で発表いただきたい。
	【グループ討議】
森小学校長	Aグループで話し合った内容について報告。 警報発令時解除時の対応のなかで、8時30分前に解除された場合、デマンドバスの予約が必要であり、予約手続きについて確認が必要。 学校用品 体操服の支給枚数が2着は必要ではないか。 放課後の過ごし方については、日課を検討しているところ。 通学分野でも放課後バス停までの経路について、1学期については1年生は学年の先生が付いていくようにしているが、秋葉線の乗車人数が中学生も含め、雨の時はさらに利用する生徒児童が増えるが、バスに乗れるのか確認が必要である。
森小学校教頭	Bグループで話し合った内容について報告。 森町全体の基準について今後考えていくとなっているが、専門家の意見を取り入れながら検討して欲しい。警報解除時、警報発令時の学校からの連絡、保護者への引き渡しについて不安で心配をしている。学校でも検討し、より安心安全な登下校ができるように考えていく。 学用品は体操服が何着支給されるか質問があった。保護者同士の交流があると安心できる。 放課後の過ごし方はおおむね今の状況で良い。しかしながら今後検討していくところについてはさらなる充実をお願いする。
天方小学校教頭	暗黙のルール、持ち物等の様子が聞けると良い。保護者3人が情報交換をして少し安心した。実際は子供達が慣れていくので温かく見守っていただけると良い。
森小学校教頭	警報発令時解除時の対応の中で、8時30分前に警報が解除された場合、デマンドバスの予約等について相談していく。
三倉小学校教頭	三倉小学校では6時30分の時点で運転手に自宅待機を伝える。8時30分までに解除されたらやまゆり三倉と調整をし、デマンドバスの予約をその時点でできるようにしてもらった。同様の対応で進めていける。

発言者	内 容
森小学校教頭	警報発令時解除時の基準についてはこの内容で承認する。体操服の支給枚数については、どうか。
学校教育課長補佐	体操服については中学校でも2着支給している。小学校についても2着を想定している。
森小学校教頭	保護者の交流については学校でも今後検討していく。 放課後子供教室のおおまかな枠組み(場所、開催日)については実施計画案のとおりでよい。今後は詳細について検討をお願いする。
天方小学校教頭	Cグループで話し合った内容について報告。 新しい環境になった場合、バス停までの道は支援員を付けていけるように検討をして欲しい。 バスに乗る人数を把握をする必要がある。1週間1か月単位でバス利用について学校でも把握をした方がよいのではないかと聞いたので、放課後子供教室についても移動バスが1本早いバスに乗車できるのでは無いか。 保護者の交流があるといういろいろ聞けて安心する。
三倉小学校教頭	Dグループで話し合った内容について報告。 朝の通学バス停から歩くところが心配だが、徒歩通学の小学生も登校時間をずらして同じ時間に近くの小学生も同じ時間の集団登校をするよう検討してくれている。リーダーを作って集団登校をしていく事が大切である。通学区会で歩き方について指導していくことが大事。 放課後子供教室についても、学校の日課の検討の結果によっては、バスを早めて、混み合いを回避でき、放課後子供教室の時間も増やせる。しかし、小学校での生活が窮屈にならないように対応をしていく必要がある。 乗降場所については検討していくと話があった。さらに、乗降場所についてはいろいろ検討した方がよい。コロナ対策についてはマスクを付けて話をしないで乗るようにしている。 バスへの乗車人数のシミュレーションをして欲しい。保護者の交流の場についても検討して欲しい。
森小学校長	保護者の交流については、コロナの時期であるが、前向きに検討していきたい。
企画財政課長	バスの乗降場所の関係で秋葉バスと協議中である。自動車ターミナル法に基づいて国へ乗り入れ申請する必要があるが、もともと車庫であるので、ターミナルとして許可が下りない(困難)ではないかと考えられる。それ以外の方法で今後も良い案を協議継続していく。子供がより安全な方法で利用できるように考えている。 (大河内線)バスは、利用人数の関係で車を増車する方向で検討している。(全線において)現在の通学実態を反映させて登校時は全車両において定員まで達していない。中学生においては天候の影響にかかわらずバスを利用しない方もいる。下校時においても、中学校、小学校の全学年一斉に下校した場合においても定員まで達していない。シミュレーションの中でOD調査の結果やバスの利用実績により、一般利用者が乗車していたとしても定員までは達しないことを確認している。 コロナ対策として町営バスでは運転手のマスク着用、車内のアルコールによる消毒、窓を開けてエアコンをかける対応をしている。車内に手指消毒用アルコールの設置をしている車両があると聞いているが、対策の徹底をさせていきたい。
三倉小学校教頭	乗降場所については、今後も検討して欲しい。バスの乗車人数シミュレーションについては、問題ないことを確認できた。コロナ対策についても、手指消毒を取り入れていくことが検討される。
森小学校教頭	PTA分野について進捗状況を報告 PTA分野での決定事項としては、森小学区から 会長と副会長3名を選出 三倉小天方小校区から副会長1名の選出をすることになり、承認前だが、選出も済んでいる。 検討事項としては、地区委員について、三倉小学校、天方小学校の細かい地区で選出をしていくのか、三倉小学校天方小学校でまとめて1名又は2名の選出をしていくのかを三倉小学校、天方小学校で検討する。地区委員にはバザーの見学をお願いしたい。

発言者	内 容
天方小学校長	事務分野について進捗状況を報告。 夏までに備品の移動の希望が提出があった。集約をして、移動に関する費用について検討している。ピアノの希望は無かったが、大型テレビ等を業者に移動してもらう必要がある。
天方小PTA	天方小学校ではPTAバザーを保護者や職員の負担が大きいので中止しているが、統合後はバザーをしないといけないのか。
森小学校教頭	天方小学校でバザーを中止した理由として負担に対して収益が少ないから中止したが、森小学校ではバザーの収益が大きく、PTA活動に大きく貢献しているため、今のところ継続していく方針である。
三倉小学校教頭	三倉小学校でもバザーをやっていないため、どのようなものなのか知りたい。
森小学校長	森小学校PTAバザーは今年度も12月に実施予定であるが、コロナの影響で縮小して実施するようになると推測される。実際にバザーの取組を見てもらえるいい機会である。
三倉小学校教頭	一度見てみると理解が深まると思う。
天方小学校長	学校施設の関係、森小学校では内線システムが無いと聞いている。待機場所や児童クラブ利用について考えると、内線が無いと不便であるため、内線の整備が必要であるので検討をお願いします。
学校教育課長	来年度の取組に向けてスムーズなシステムを学校と一緒に考えていきたい。
三倉小学校長	森中学校長から皆さんに伝えてほしいということなので、今年度統合した森中学校での生徒の様子についてお知らせする。コロナの関係で通学日数が少なくなってしまったが、新しい森中が統合して進んできている。統合に関して不安や悩みについてのアンケートを実施したところ、概ねの子供達が、中学校が楽しい、やりがいを感じている、生徒に限らず保護者も同様の様子が見られると聞いている。中学校と同様に小学校でも子供達も保護者も安心して小学校生活が送れるように進めていけたら良いと感じた。
学校教育課課長補佐	次回の統合準備会について 10月28日水曜日文化会館小ホールで開催する。出席をお願いします。 以上をもって閉会とする。(午後9時03分)